

表 カザフスタン大統領選挙候補者

	候補者氏名(年齢)	推薦者	経 歴	政策・主張
1	カシムジョマルト・トカエフ (65歳)	ヌルオタン(輝ける祖国)党	モスクワ国際関係大学卒。 旧ソ連時代から外務畑を歩み、カザフスタン独立後は外相、首相、上院議長など要職を歴任。 2019年3月、ヌルスルタン・ナザルバエフ前大統領の辞任にともない臨時大統領に就任。	前大統領の政策の継承・発展。
2	アミルジャン・コサノフ (54歳)	ウルト・タグドウル(民族の命運)国民愛国運動	カザフ州立大学ジャーナリズム学部卒。 青年観光スポーツ省副大臣、首相報道官などを経て、2013年より無所属の政治家としてウルト・タグドウルを率いる。	政治的自由、汚職排除。国民が豊かさを体現できる国家づくり。
3	サディベク・トゥゲル (64歳)	公益団体「ウリダラ・克蘭ダリ(大ステップの鷹)」	カザフ州立大学ジャーナリズム学部卒。 国民愛国運動「我がカザフスタン」、アスタナ国際プレスセンター長、上院議員などを経て、現在は全国馬術スポーツ連盟副会長と科学誌「カザナット」の編集長。	カザフ語の普及、カザフ人離散民の帰還の支援、アラシュオルダ(20世紀初頭のカザフ民族独立運動)の精神による近代化の実現。
4	ジャンブル・アフメトベコフ (58歳)	カザフスタン共産主義人民党	ツェリノグラード農業研究所およびキメップ大学卒。 カザフスタン共産主義人民党党員としてアクモラ地区軍事技術研究所「スンカル」軍事教練副所長などを務め、スポーツ、教育分野で活躍。2005～2011年共産主義人民党中央委員会幹事長。2011年の大統領選に参加。2012年から下院議員として社会文化発展委員会委員。	西側の影響および誤った価値観の排除、貧困救済、近隣諸国との経済統合、公正な課税の導入。
5	アマンゲルディ・タスピホフ (59歳)	カザフスタン労働組合連盟	カザフ工科大学機械工学卒。 1998年以来、技術者として石油、天然ガス、新技術業界で数多くの役職を歴任。一方で西カザフスタン州の上院議員、共和国下院議員に選出され、政治家としても活躍。現職はウラル石油・天然ガス有限責任事業組合の製造部門長、西カザフスタン地域労働組合連盟会長。	労働者の利益を守る。悪質な雇用主の取り締まり、安全な労働環境整備、賃金の是正。
6	ダニヤ・イエスパエワ (58歳)	アク・ジョル(明るい道)民主党	1982年アルマトイ会計信用取引専門学校卒。 プロムストロイ銀行、BTA銀行の上級エコノミストを経て、2014年にカズコメルツ銀行のアクトベ支店長に就任。2016年から現在まで下院議員財政予算委員会委員。	競争と起業家精神に基づく継続的発展と腐敗防止を基本政策としている。
7	トレウタイ・ラヒンベコフ (54歳)	アウル(村)党	カザフ農業大学機械工学部、カラガンダ州立大学法学部卒。 農業省傘下の公社「カズアグロインベーション」の社長、副首相顧問を経て、現在は国立農学研究教育センター長。	農産業団地の開発、経済社会問題への取り組み、伝統的、精神的価値の保持、青少年育成。

(出所) 新聞報道、ウェブサイト情報を基にジェトロ作成